

# 平成28年度 施政方針と予算

平成28年度は、第5次白鷹町総合計画の後期基本計画並びに白鷹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略に基づくまちづくりの2年目を迎えるとともに、新たな白鷹町過疎地域自立促進計画がスタートする年です。人材育成をベースに、「子育て教育」、「雇用・産業」、「地域」、「防災」の4つの柱を重点として、さらに各種計画と連動した施策を展開します。

## 1 施策の柱「子育て教育」

■子育てしやすい環境づくり…医療費の自己負担額を無料とする「しらたか元気っ子事業」は、対象年齢を高校3年生相当まで拡充します。引き続き「多子世帯子育て応援事業」や小学校に新入学する児童を持つ保護者へのお祝い品を贈る「白鷹子育て応援事業」を継続し、あらと保育園とよつば保育園が4月から開所する幼保連携型認定こども園への対応や「すこやかかかっ子養育事業」を拡充します。

■教育の充実…学校教育においては、平成29年度に小学校に入学する児童の新入学を祝い、保護者の経済的負担軽減と町内事業所の活性化の視点も踏まえ、新入学児童ランドセル贈呈事業に取り組みます。

学校生活支援員の配置による個々の

児童生徒へのきめ細やかな対応の充実と、教育相談員の配置によるいじめ・不登校の未然防止に努めます。

学校施設の整備は、荒砥小学校の児童数増加及び老朽化対策として大規模改修事業に取り組みます。

学校給食においては、共同調理場の調理・配送等業務を民間業者に委託し、地産地消に努めながら、安全安心でおいしい給食を提供します。

■白鷹人(しらたかびと)の育成…荒砥高校については、新入生応援事業や介護職員初任者研修、教育支援員の配置等により支援を行います。また、白鷹高等専修学校の教育体制充実に向け、置賜管内各市町と連携しながら支援します。

生涯学習については、平成29年度から5か年計画となる白鷹町生涯学習振興計画を新たに策定するとともに、白鷹学講座や放課後子ども教室の開催や家庭教育推進事業などに取り組みます。

生涯スポーツについては、白鷹町武道館の供用を開始するとともに、東陽グラウンド駐車場整備事業に向けた用地の先行取得を行います。全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール競技の開催に向けて、会場を改修します。

文化財の保護・伝承については、国の重要文化財である観音寺観音堂の屋根改修を支援してまいります。

芸術文化については、芸術祭の開催や、文化交流センターあゆーむと連携し、「梅津五郎芸術賞」第2回全国絵画公募展を開催します。

図書館については、新しい複合施設でのサービス提供のあり方等について検討します。

青少年国際交流事業や、若者定住Uターン、婚活などの一助となるよう一定の年代が集う学年単位の交流会に對する支援を引き続き行うとともに、出会いの場を創出するため「婚活サポート事業」の拡充を図ります。

## 2 施策の柱「雇用・産業」

■農業の振興…農業者の経営が安定し、農業が将来にわたり持続可能な産業となるよう「白鷹町農業再生協議会」を中心に、特色ある産地づくりに向けた取り組みを行います。

「農地中間管理事業」は、作成している「人・農地プラン」の話し合いを基に、地域の実情に沿った対応に努めます。

耕作放棄地の解消や耕畜連携の推進、担い手の育成支援については、「白鷹町地域農業活性化センター」を中心に継続して取り組みます。

担い手の育成支援は、「白鷹町新規就農者受入協議会」を中心に、町外からの就農希望者の受入を積極的に推進し、新たに、住宅取得の支援にも取り組みます。

安心で安全な農産物の提供では、「白鷹町食育・地産地消推進計画」に基づき、食育・地産地消の取り組みなどを推進します。

土地改良事業は県営事業を継続実施するほか、「ため池」等の整備、農業・農村の持つ多面的機能を発揮する「日本型直接支払制度」の活用を進めます。

■森林・林業の再生…「育てる林業」から「使う林業」への転換を図るべく、「白鷹町森林・林業再生協議会」を中心に関係事業者と連携して事業を実施

します。

基盤整備では、「基幹林道白鷹東部線」の開工を進め、既存林道の災害復旧と継続的な維持管理を行います。

森林境界の明確化や松くい虫防除事業、みどり環境交付金事業による住民参加型の森林整備・交流事業にも取り組んでまいります。

■地域産業の振興…白鷹サテライトオフィスを有効に活用し、受注拡大の支援を図り、雇用の確保に努めます。中小企業技術者養成事業や企業立地促進事業、企業誘致活動に取り組みます。また、新規学卒者やUターン希望者への就職支援を行う人材確保対策事業を継続します。

商業については、新たに買い物困難者への対応の調査・検討を行うとともに、商工会が実施する商業活性化促進事業や建築需要促進事業を支援します。

観光交流については、「日本の紅(あか)をつくる町の推進」を重点施策と位置付け「紅花まつり」「紅花color's」の開催、首都圏や仙台圏エージェントへのプロモーションの実施、紅花摘み体験や見て楽しむ観光紅花畑の整備、紅花生などの支援を継続し、誘客促進を目指します。

「やまがた花回廊キャンペーン」や、最上川・幻の左荒線を核とした白鷹・朝日・大江3町による広域観光、農村体験を中心とした教育旅行受け入れに力を入れ、交流を広げます。

産業の連携については、産業振興戦略会議を中心に6次産業化への取り組みについて支援を行います。また「S

# 雇用・産業